

6の2 規則第14条の2の報告書の様式

伐採に係る森林の状況報告書

令和6年5月1日

軽米町長 殿

住所 軽米町大字上館〇-〇-〇

報告者 氏名 上館 太郎

令和4年4月1日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1 森林の所在場所

九戸郡軽米町大字 上館×-×-×

2 伐採の実施状況

伐採面積	3.00 ha (うち人工林 3.00 ha、天然林 ha)		
伐採方法	皆伐・択伐	伐採率	100 %
森林所有者(造林する者)の伐採跡地の確認の有無	有・無	①森林所有者本人が確認。 ②本人が確認出来ない場合は、伐採した者が確認する	
作業委託先	△△林業株式会社		
伐採樹種	スギ、カラマツ		
伐採齢	50~60年		
伐採の期間	令和4年4月1日~令和4年12月31日		
集材方法	集材路・架線・その他()		
集材路の幅員・延長	幅員 3 m	延長	500 m

3 備考

--

幅員が3m超で、その面積が1he超えとなっていないか。

実際に、伐採した期間

注意事項

- 1 報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 2 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 3 面積は、小数第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 4 伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 5 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他の針葉樹、ぶな、くぬぎ及びその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 6 伐採齢欄には、伐採した森林が異齢林の場合においては、伐採した立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「(○～○)」のように記載すること。